

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

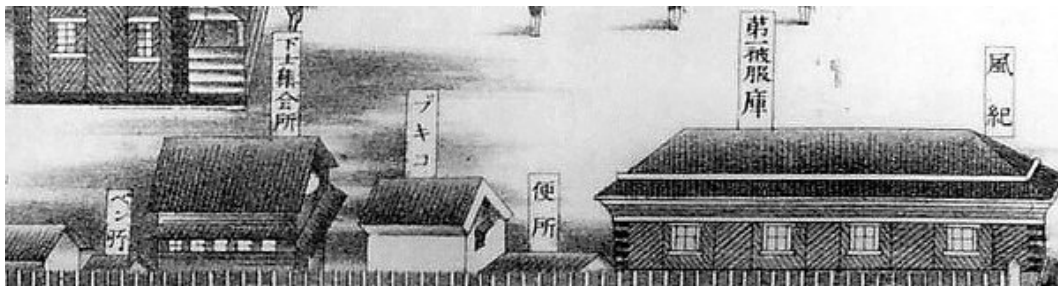
誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	27 / 2010 / 77
タイトル	「会員の便り」から 新制青高草創の頃(補遺・その2)
著 者 名	編集部

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

「会員の便り」から 新制青高草創の頃(補遺・その2)

本誌25・26号に「新制青高草創の頃」を連載した。内容はキャンパス回想などさまざまで、「会員諸氏のご記憶がありましたらお寄せください」と結んだ。3代鈴木二好氏からつぎのようなお便りがあった。貴重な証言なのでここに記しておく。

「我々が入った五連隊の建物は衣料棟?、衣料修理棟だったと思う。監査が入るとなった時は余った物は周辺に穴を掘って埋めたという。天井裏には羊毛のゴミがフェルトのように積もっていた。大竹先生の命令で生物の授業には出ずによくハトを捕えに上がったものだ。部屋に使ったのは将校の酒ホ。あの階段は荒川中の階段に転用された。」(原文のまま)



本誌25号8頁に「青森歩兵第五連隊兵営之真図」を載せた。これは明治33年に筒井村在住の土田和吉氏が描いたもので、その左下部分を拡大して再度掲げた。青高草創の頃はこれから50年近くも経っており、その間の増改築は激しいものがあつたと思われる。ただ、この図には「第1被服庫」とか「下士集会所」があり、鈴木氏の証言とつながる部分が多い。(文責・室谷洋司)